

全学向け情報教育の近況報告

メディア情報処理研究部門

右田 雅裕

migita@cc.kumamoto-u.ac.jp

1. はじめに

本稿では、平成 24 年度の本学における全学向け情報教育の近況について報告します。

情報基礎演習科目「情報基礎 A・B」は、熊本大学の全 1 年生約 1800 名を対象に開講されており、総合情報基盤センターが主体となり実施されてきました。情報分野における基礎的な知識と技能の習得を目標とした教育体制が平成 14 年度より実践されています。

2. 情報基礎 A・B

情報基礎 A・B は、本学の全 1 年生を対象にそれぞれ前学期及び後学期に開講される情報基礎演習科目です。平成 24 年度は、「情報基礎 A」が 26 クラス約 1860 名の受講者で、「情報基礎 B」が 26 クラス約 1920 名の受講者で構成され、それぞれ 13 名の教員（ともに内非常勤 3 名）が講義を担当しました。情報基礎 A・B では、LMS (Learning Management System)として WebCT (現 Blackboard Learning System) を用いて、テキスト（独自に作成したオンラインコンテンツ）の提示や課題の提出、確認テスト（オンラインテスト）等が実施されています。平成 24 年度も 4 月から通年にわたり特に大きな障害もなく演習が実施されました。

学習テーマの見直しも含めた大幅なテキスト改訂が前年度実施されましたが、今年度はそれらの演習をより円滑に進めるために演習方法等の改善を図りました。電子メールの送受信を伴う演習では送信遅延が生じていましたが、メールサーバの設定変更等によりそれらの遅延も解消されています。また、本学附属図書館中央館では土日開館時の PC 利用サービスが提供されていましたが、同館の改修工事に伴いその利用ができなくなりました（平成 24 年 7 月～平成 25 年 9 月）。そこで、黒髪キャンパスにおける週末利用可能な PC 実習室として、総合情報基盤センターの実習室が平成 24 年 8 月～平成 25 年 3 月の期間の土日に開放されました。当基盤センターの実習室土日開放（13:00～20:00）時には、利用方



図 1 平成 24(2012)年度の「情報基礎 A」ホームページ

法に関する質問等に対処するために TA を配置することで対応に当たりました。

3. 情報基礎 A・B アンケート結果

情報基礎 A・B では各学期末の講義終了時に受講者（学生）へのアンケートを LMS 上で実施しています。ここでは平成 24 年度に実施したアンケート結果の一部を示します。

3.1 情報基礎 A のアンケート結果

質問 1

フォルダの新規作成、ファイルのコピーとペーストや移動、ファイルやフォルダの削除などの操作を行えますか？

- 自信をもって行える
- ある程度は行える
- できない
- 質問の意味が分からない

図 2 に質問 1 の結果を示します。

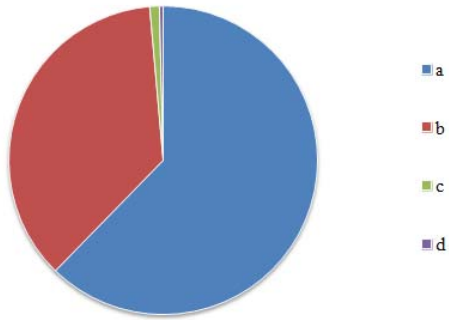


図2 質問1の結果 (回答数: 1650)

質問2

プレゼンテーションソフトウェアを利用して、文章、静止画だけでなく、アニメーションなど動きのあるプレゼンテーション資料を作成できますか？

- a. できる
- b. ある程度はできる
- c. できない

図3に質問2の結果を示します。

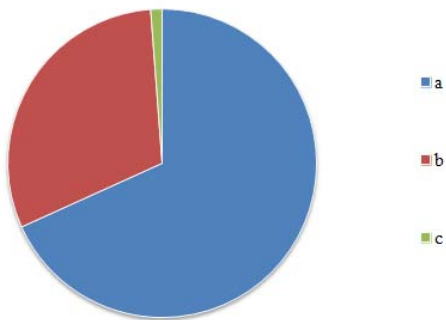


図3 質問2の結果 (回答数: 1651)

質問3

Web検索において、AND検索とOR検索を適宜、使い分けることができますか？

- a. できる
- b. ある程度はできる
- c. できない

図4に質問3の結果を示します。

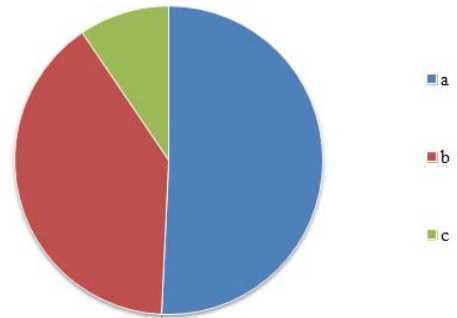


図4 質問3の結果 (回答数: 1650)

質問4

情報基礎Aでは多くのことを学習してきました。あなたが良かった、面白かった、役に立ったと思える回を3つあげてください。

- a. INFOSS 情報倫理
- b. 電子メール (Thunderbird の利用)
- c. ワードプロセッサ (OpenOffice.org Writer)
- d. ペイント (GIMP)
- e. ドロー (OpenOffice.org Draw)
- f. 情報検索
- g. プレゼンテーション (OpenOffice.org Impress)
- h. スプレッドシート (OpenOffice.org Calc)

図5に質問4の結果を示します。図5の縦軸は各選択肢の全回答に対する割合を示します。

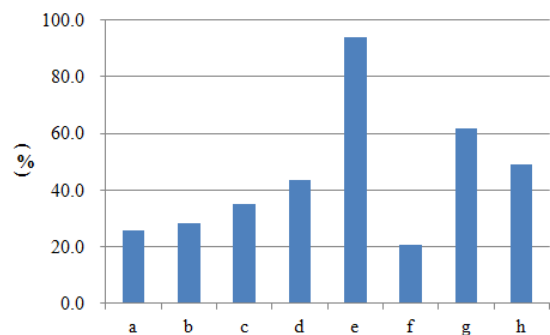


図5 質問4の結果 (回答数: 1650)

3.2 情報基礎 B のアンケート結果

質問 5

あなたは大学入学以前に（中学校、高校、自宅などで）、Web ページを作成したことがありましたか？「ある」場合は「いつ/どこで」を、「ない」場合は「ない」を選択してください。

- a. ない
- b. 中学校
- c. 高校
- d. 中学校と高校
- e. 自宅
- f. それ以外

図 6 に質問 5 の結果を示します。

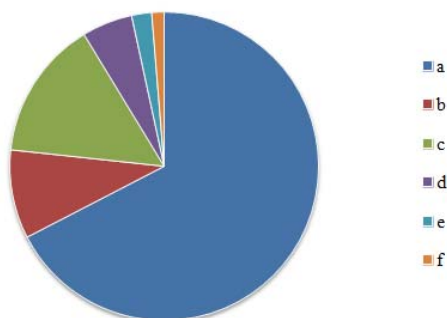


図 6 質問 5 の結果 (回答数: 1262)

質問 6

情報基礎 A 第 2 週、情報基礎 B 第 13 週で利用した Linux についてお尋ねします。Linux を利用したのは初めてですか？

- a. 初めて利用した
- b. 以前、利用したことがある
- c. とまどき利用している
- d. ほぼ毎日利用している

図 7 に質問 6 の結果を示します。

質問 7

情報基礎 B では、Web ページ作成における基礎事項として、HTML、CSS、ActionScript (Flash アニメーション) を学習しました。あなたにとって、難しく感じた学習内容の順番をお教えください。選択肢は、「易しい → 難しい」の順に並んでいるものとお考えください。

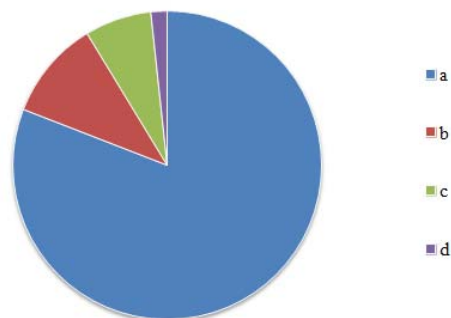


図 7 質問 6 の結果 (回答数: 1260)

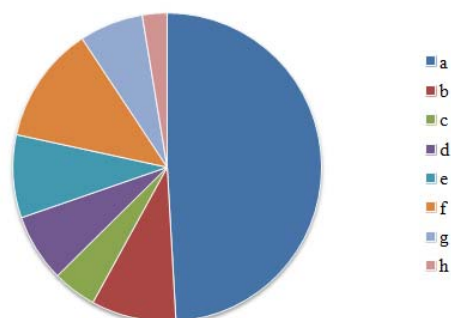


図 8 質問 7 の結果 (回答数: 1260)

- a. すべて同じくらい難しかった
- b. HTML → CSS → ActionScript
- c. HTML → ActionScript → CSS
- d. CSS → ActionScript → HTML
- e. CSS → HTML → ActionScript
- f. ActionScript → CSS → HTML
- g. ActionScript → HTML → CSS
- h. すべて易しかった

図 8 に質問 7 の結果を示します。

質問 8

Web ページ作成の学習であなたがもっと学習してみたいことがあればお聞かせください。複数回答は可能です。

- a. HTML をもっと詳しく
- b. CSS をもっと詳しく
- c. ActionScript (Flash アニメーション) をもっと詳しく
- d. Web デザイン関連について
- e. Web アクセシビリティについて

- f. Web プログラミング
- g. Web にマルチメディア（音声や動画など）をもたせる方法
- h. Web ページの公開と関係する著作権や情報倫理について
- i. Web を含むインターネット技術について
- j. 特になし

います。少ないながらも変化が見られる部分に関しては、大学入学以前の利用経験が影響している可能性も考えられます。アンケートの結果は、今後の情報基礎 A・B の講義・コンテンツ改善に役立てていく予定です。

図9に質問8の結果を示します。図9の縦軸は各選択肢の全回答に対する割合を表します。

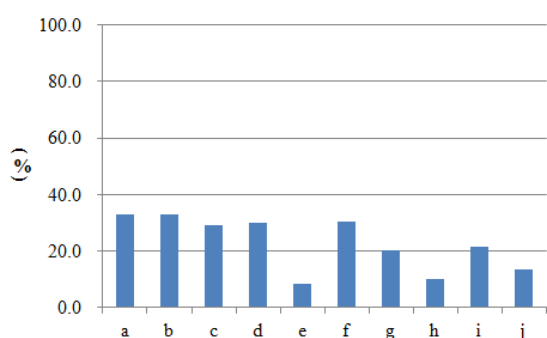


図9 質問8の結果（回答数：1261）

3.3 考察

情報基礎 A に関しては、プレゼンテーション資料を作成できると回答した受講者が大きく増加しています（質問 2）。回答数の増分を考慮してもできると回答した受講者はさらに増えており、増加は前年度に続くものです。Web 検索における AND 検索及び OR 検索の使い分けに関しても、できると回答した受講者の増加幅が先の質問と同様です（質問 3）。Web 検索の有効な利用が広がってきていると考えられます。

情報基礎 B に関しては、相対的に多かった前年度よりも ActionScript を難しいと感じている受講者が減少していますが、回答数の減少分を考慮するとすべて（HTML と CSS も）同じくらい難しいと感じている受講者が逆に増加しているようです（質問 7）。大学入学以前に Web ページを作成した時期・場所として中学と回答した受講者が減少していますが（質問 5）、利用経験の差がこれに影響している可能性も考えられます。

4. おわりに

前年度（平成 23 年度）のアンケート結果と比較すると、全体としては概ね同傾向の結果が得られて